

大学職員情報化研究講習会

～応用コース～

大学に求められる情報公表と 質向上への取り組みについて

～ AISAS理論を利用したモデル提示 ～

座長 常翔学園 木村
発表 大阪工業大学 江島
日本大学 勝俣
学習院大学 白石
書記 金沢工業大学 高島
崇城大学 北方

- 第3分科会【Aグループ】
「大学の情報公開とICTの戦略的活用」

大学をとりまくステークホルダー



2

ステークホルダーが知りたい情報(1/3)

受験生

将来どのような仕事に就けるのか？(就職先)
卒業後どのような人になれるのか？
どうい先生がいるのか？
4年間で卒業できるのか？
学食・売店などが充実しているか？ etc

保護者

公務員・上場企業への就職状況
在学期間中のケアについて？(成績の照会、出席率)
留年・退学の傾向について？
資格試験の状況について？
就職サポートの内容は？ etc

3

ステークホルダーが知りたい情報(2/3)

在学生

成績の付け方、単位
奨学金の担当は？
図書館、情報処理施設の利用方法
学内で関係しているイベントの情報
学内でくつろげる施設、アメニティー etc

企業

どのような学生を育てるのか？
学生が何を学んだか？
大学の位置付け(知名度など)
どのような研究をしているか？(強み)
大学で何を教えているか？ etc

4

ステークホルダーが知りたい情報(3/3)

教職員

今後の方針を把握するための事業計画
理事会承認事項
就職状況(今の状況)
福利厚生について
etc

地域社会

大学で実施している公開講座、イベントの情報
地域貢献の実績
産学官連携の実績

5

大学が発信する情報

何が学べるか？

どのような力が身につくのか？

6

情報公表の現状

- ・対文科省対応
- ・受身の情報公表
- ・有効利用されていない(学内外)



ステークホルダーに向いていない！！

7

情報公表の理想

ステークホルダーが求める情報を発信

大学からの主体的な情報発信

特色ある情報公表(他大学との差別化)



質の向上

8

理想を実現するための問題点

何を目的に情報を公表するかわかっていない

あるべき姿を描けていない

解決するための手法が必要

9

AISAS理論とは

「Attention」(注意が喚起され)

「Interest」(興味が生まれ)

「Search」(検索し)

「Action」(行動し)

「Share」(情報を共有する)

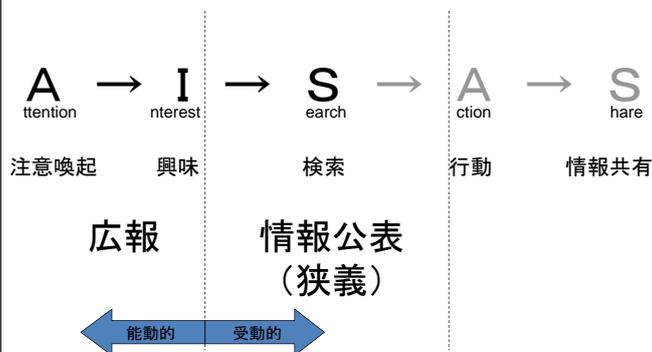
AISAS理論とは、マーケティングにおける消費行動のプロセスに関する仮説のひとつで、消費者の購買にまつわるプロセスを「注意」「興味」「検索」「行動」「情報共有」のプロセスから成り立つとする理論のことである。

BINARY IT用語辞典引用 <http://www.sophia-it.com/content/AISAS%E7%90%86%E8%AB%96>

10

AISAS理論

理論を大学に当てはめると...



11

Attention(注意喚起)

A 多様なタッチポイントを準備

例えば...

- ・企業訪問
- ・DM(紹介状)
- ・プレスリリース
- ・パンフレット
- ・HP
- ・駅伝
- ・TV放映(学生の様子)
- ・コミュニティラジオ
- ・雑誌(ビジネス誌) 等

12

Interest(興味)

I 多様な側面を提示

ヒトを前面に出す

例えば...

- ・YouTube(学生の状況)
- ・ブログ(学生の活動紹介)
→普段の様子
- ・学生インタビュー
- ・プロジェクト紹介(ロボコン、ソーラーカーなど)

- ・研究冊子(研究業績)

13

Search(検索)

S 信頼されるエビデンスの提供

例えば...

- ・企業向け説明会
- ・企業向けHP
 - －能力
 - －資格
 - －実績

- ・教員業績システム(ReaD) 等

14

Action(行動)

A 情報公表の目的

例えば...

- ・インターンシップ
- ・採用

- ・共同研究
- ・外部資金

- ・人材確保 等

15

Share(情報共有)

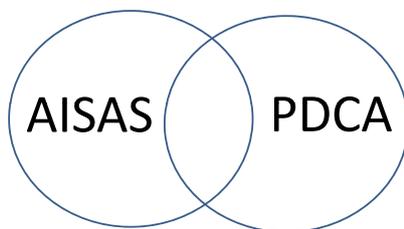
S 大学への評価

例えば...

- ・twitter
- ・facebook
- ・mixi 等のSNS
- ・卒業後の活躍 等

16

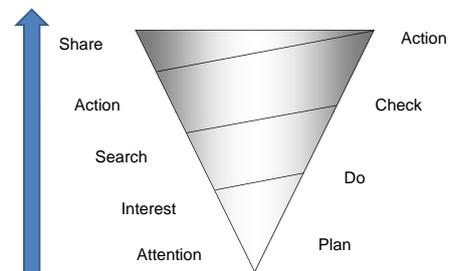
PDCAとの有機的結合



17

情報のスパイラルアップ

質保証の向上



18

ご清聴ありがとうございました。

